

かわら版

〔第211号〕

総務課 広報担当



年頭のごあいさつ

公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂香久山病院

院長 春山 和見



新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年の出来事を思い浮かべますと、やはり大きな自然災害が多かったと思います。昨年の2月には郡山市内で二度の大雪、何故か約一週間程当局による除雪がなされませんでした。その後、甲府地域を中心に未曾有の豪雪と主要道路の交通遮断。伊豆大島、広島市における短期的集中豪雨による土砂災害、御嶽山では多くの登山者が犠牲になりました。何とかならないもののでしょうか。災害がおこる度にマスコミを通じて多くの識者が種々述べていますが、いずれも後知恵的な感が否めません。「つなみの時はテンデンコ」的な知恵が要されると思います。

ともあれ、寿泉堂香久山病院では昨年の4月から在宅復帰機能強化加算を取得しております。この制度は在宅復帰率50%以上、病床回転率10%以上を満たすことが必要となっています。それ故、今まで以上に集中的な医療を施し、御家族の意向を尊重した上で、早期に在宅に向けていけるよう、引き続き医療の質の向上に努めてまいります。

最後になりましたが皆様のご健勝、ご発展を祈念して年頭のご挨拶といたします。



Merry Christmas!



～クリスマス会・キャンドルサービス～



12月11日にリハビリテーションセンターにおいて恒例の『クリスマス会』を開催しました。

今年は、クライアントレク委員による、じゃんけん大会・ズンドコ体操や郡山女子大の学生の皆さんにはフルート演奏・クリスマスソングを歌っていただきました。

また、最後に当院職員で構成する下町座による“水戸黄門”が演じられ、会場からは笑いや拍手が沸き起こるなど、終始和やかな雰囲気の中で行われました。

夕方からは、郡山東高校や郡山女子大の学生の皆さんに協力していただき、全病棟で『キャンドルサービス』を行いました。当院スタッフがサンタクロースやトナカイに扮し、学生の皆さんはキャンドルを持ち「きよこの夜」を歌いながら、入院患者さん一人ひとりにささやかではありますがクリスマスプレゼントを配りました。

